11 月号 ごあいさつ

建築物の内装木質化がもたらす効果とは！？

多様な木材利用への転換 － 木造化だけではない木質化という選択を!!

株式会社 山西　あすなろ会相談役
代表取締役会長　西 垣　洋 一

少子高齢化や人口減少、そして新築住宅需要の構造的な変化に伴い、国内の新設住宅着工数は減少傾向が続いています。かつての新築住宅に依存したビジネスモデルだけでは、木材・住宅業界が持続的な成長を維持することは難しい時代となりました。

このような厳しい市場環境において、業界が新たな収益の柱を見出し、確かな活路を見出すためには、新築住宅の枠を超えた非住宅建築物の「木造化」に加え、空間の価値を高める「木質化（内装木質化など）」の推進が、差別化を図るための極めて重要な戦略となります。木材を取り入れた空間がもたらす価値は、優れた意匠性を超え、木材特有の香りや視覚的な柔らかさが自律神経を安定させ、日々のストレスを軽減する効果が科学的にも実証されているなど多面的に広がっています（右図 参照）。林野庁が実施した店舗やオフィスなどの内装木質化に関するアンケート調査をまとめた冊子、『内装木質化した建物事例とその効果』では実際の利用者や設置者から次のような声が紹介されています。

〔 内装木質化による効果についての『声』 〕

○ 利用者の方から

……心理や身体にもたらす効果の「声」

・雰囲気、居心地が良く、木の温かみを感じる（事務所［シェアオフィス］利用者）
・木の香りに癒され、非日常性を感じる（研修施設利用者）
・治療をリラックスした状態で受けることができる（診療所患者）

○ 就労者の方から

……働き甲斐、誇りを感じる等、心理への付加効果と思われる「声」

・社員同士のコミュニケーションが増えた（事務所［自社ビル］社員）
・雰囲気が良く、モチベーションが高まる（事務所［シェアオフィス］管理者）
・集中して業務を続けても疲れにくさを感じる（研究所職員）
・長時間滞在しても心理的な負担が減った（展示施設管理者）

○ 設置者の方から

……業務効率の向上、企業イメージの向上に繋がるとの「声」

・業務の効率アップの結果が現れ始めている（事務所［自社ビル］設置者）
・開業後稼働率が向上した（事務所［シェアオフィス］設置者）
・施設を木質化して企業イメージが向上した（研修施設設置者）
・木質化が職場の選択理由となり、人手不足解消効果（診療所設置者）
・来訪者に対し自社の業務内容や企業理念をＰＲできている（工場設置者）

このように、内装木質化はウェルビーイング（心身の健康）向上やコミュニケーションの活性化、さらにはビジネスや施設の競争力強化にまで直結する施策として、多くのメリットをもたらします。持続可能な未来をめざし、脱炭素社会や環境都市を実現していくためには、店舗やオフィスをはじめとする非住宅の木造化・木質化は不可欠な取り組みです。

環境配慮や保全が企業の価値を左右する現在、「ウッド・チェンジ」の推進は、企業の社会的信頼を高めるブランディングとなります。それは新たな顧客層の獲得や企業の持続的な競争力の強固な基盤となります。環境保全とビジネスの成長を両立させるアプローチこそ、これからの木材・住宅業界において大きな価値を生み出す選択と言えます。

2026 年 11 月吉日

（図）内装木質化による効果とは？

心理面の効果	□リラックス・癒し効果 □心地よさ・落ち着き感を高める効果 □愛着心を高める効果 □モチベーション・積極性を高める効果	人の心理面に作用する効果で、「リラックス」「心地よさ」は建物用途を問わずに感じるとの声があります。「モチベーション」は特に事業系の建物の就労者の声が顕著です。
身体面の効果	□免疫力アップの効果 □感覚を刺激する効果 （リフレッシュ・覚醒効果） □疲労感を緩和する効果 □注意力の維持や回復を促す効果 □安全性を高める効果 □良い眠りを引き出す効果	人の身体面（健康・安全）に作用する効果です。「リフレッシュ」「疲労感の緩和」は建物用途を問わずに感じるとの声があります。「免疫力アップ」「安全性」は特に医療系、教育・子育て系の建物の利用者に有効であると想定されます。
衛生面の効果（屋内環境改善の効果）	□湿度を調節する効果 □消臭や抗菌の効果 □ダニの防除効果	屋内環境を改善して衛生系を高める効果で、建物用途を問わずに共通に得られます。なかでも居住系、子育て・教育系の建物でこの効果を活かすことが奨められます。
学習・生育面の効果	□子供の集中を助ける効果 □自然を知る・学ぶ効果	自然素材である木を身近に感じ触れることで、子供の発育や教育の面で寄与すると考えられます。
生産性の効果	□作業性・業務効率を高める効果	知的生産、労働生産に携わる方の集中力を高め、業務等の効率向上に寄与すると考えられます。
経済面の効果	□来訪者の滞在時間を延ばす効果 □来訪者を増やす効果 □就労者不足を解消する効果	木質化した空間を好む方の来訪が増えること等により、企業にとって収益が増すことが考えられます。
企業価値向上の効果	□企業等のブランド力UP・理念のPR効果	環境にやさしい素材（木）を用いる姿勢を表すことで、企業のブランド力アップ等に寄与します。
社会貢献する効果	□地元材・地域材のPR効果 □地球環境保全に貢献する効果 □地域経済に対する波及効果 □SDGsに寄与する効果	地球環境保全に寄与するとともに、地元の木を用いることは、そのPRや地域経済への貢献に資する可能性があります。また、事業者としての信頼性向上にも繋がります。

（ 参考 ： 公益財団法人 日本住宅・木材技術センター『内装木質化した建物事例とその効果 － 建物の内装木質化のすすめ － 』）